

| 今月の不動産経済 （2024年9月）

● 不動産業の動向

		前月比
不動産業景気動向指数（DI） ^{*1}	47.2 p	△ 1.3 p
		前年同月比
不動産業の倒産状況 ^{*1}	28 件	△ 6.7 %
負債総額 ^{*1}	4,883 百万円	△ 78.5 %

● 新設住宅着工数

		前年同月比
新設住宅着工・総数 ^{*2}	69,669 戸	△ 2.9 %
持家	19,705 戸	9.0 %
貸家	29,541 戸	△ 6.7 %
分譲	19,577 戸	△ 9.3 %
内マンション	8,837 戸	△ 13.1 %

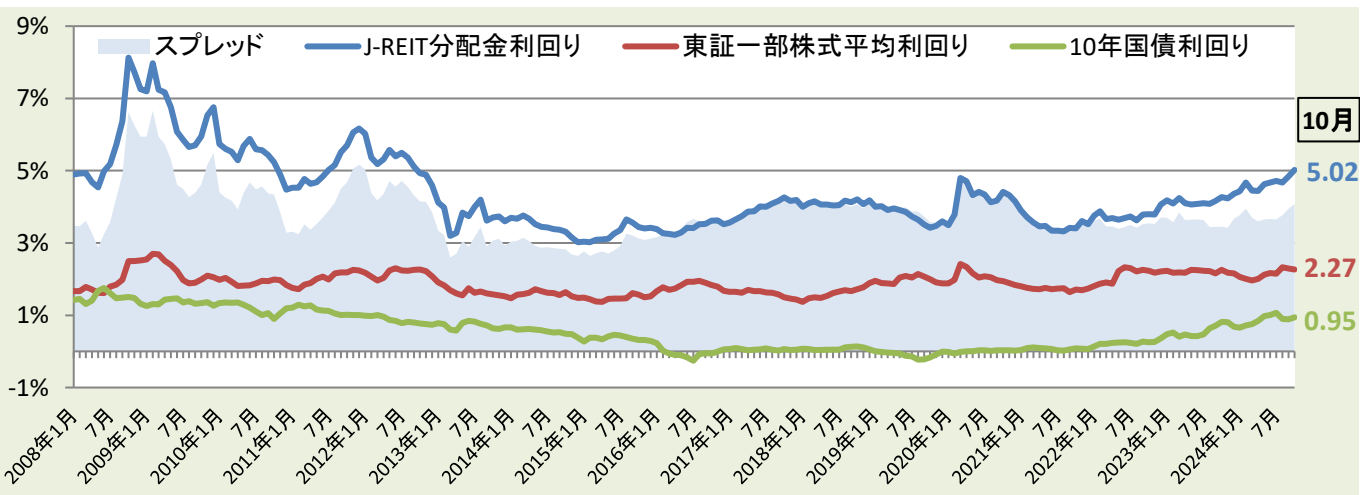
● マンション市場の動向

		前年同月比
新築・供給戸数（首都圏） ^{*3}	1,833 戸	23.4 %
[契約率]	[83.3%]	22.4 p
平均価格	9,239 万円	40.7 %
新築・供給戸数（近畿圏） ^{*3}	1,157 戸	△ 10.5 %
[契約率]	[71.4%]	△ 6.6 p
平均価格	3,789 万円	△ 1.6 %
中古・成約件数（首都圏） ^{*4}	3,124 戸	△ 5.6 %
平均価格	4,739 万円	△ 0.5 %
[㎡単価]	[75.2万円]	0.8 %
中古・成約件数（近畿圏） ^{*4}	1,489 戸	△ 5.1 %
平均価格	3,050 万円	1.0 %
[㎡単価]	[44.7万円]	1.9 %

● オフィス市場の動向

		前年同期比（賃料）/前月比（空室率）
オフィス賃料（都心5区） ^{*6}	20,178 円	2.2 %
オフィス空室率（都心5区） ^{*6}	4.48 %	△ 0.13 p

● J-REIT分配金利回り^{*7}



不動産業の業況感は前月から 1.3p悪化の 47.2pとなった。

新設住宅着工数は、6ヶ月連続で前年同月比減。

首都圏の新築マンション供給戸数は、前年同月比 23.4%増（7ヶ月ぶりに増）。契約率は 83.3%。平均価格は同 40.7%上昇（3ヶ月連続で上昇）。

近畿圏の新築マンション供給戸数は、同 10.5%減（3ヶ月連続で減）。契約率は 71.4%。平均価格は同 1.6%低下（3ヶ月ぶりに低下）。

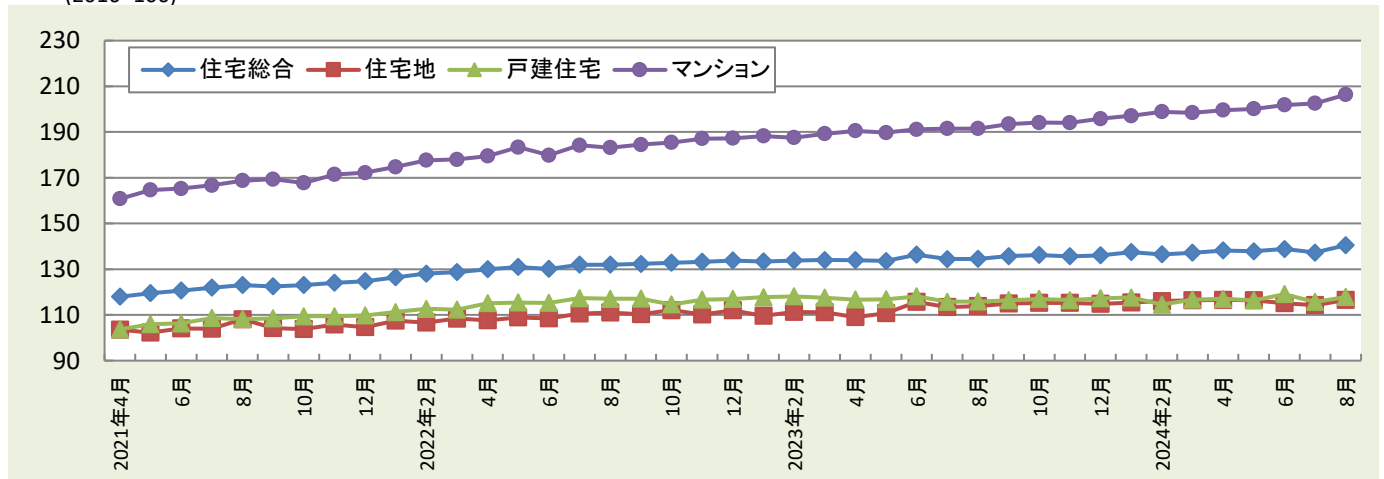
首都圏の中古マンション成約件数は 前年同月比 5.6%減（4ヶ月連続で減）。平均価格は同 0.5%低下（2ヶ月ぶりに低下）。

近畿圏の中古マンション成約件数は 同 5.1%減（5ヶ月ぶりに減）。平均価格は同 1.0%上昇（16ヶ月連続で上昇）。

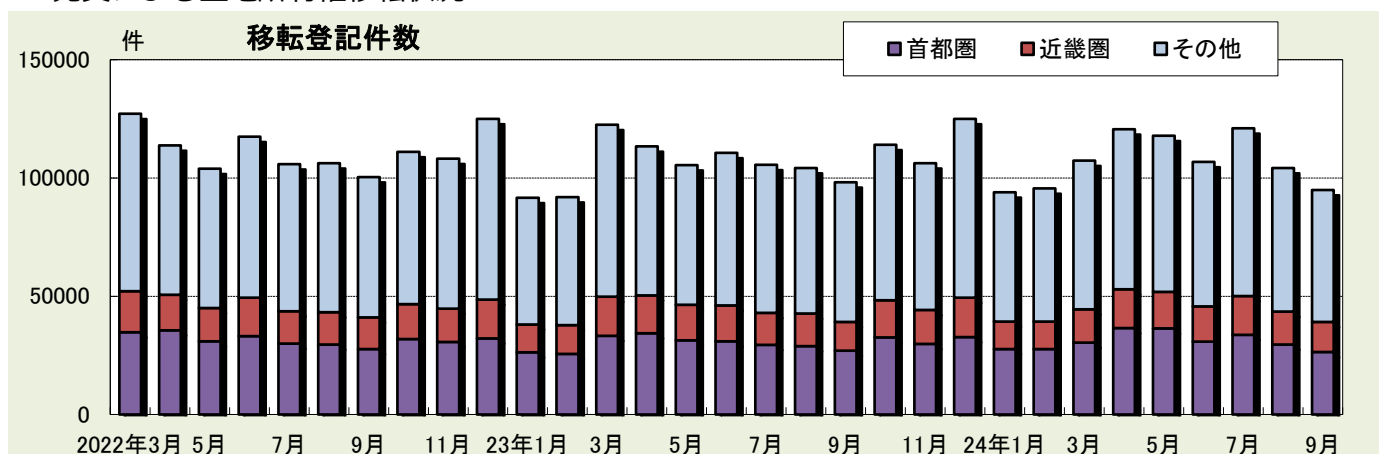
都心5区のオフィス賃料は 6ヶ月連続で前年同月上昇。オフィス空室率は前月比 0.13%p低下の 4.48%。

● 不動産価格指数^{*2}

(2010=100)



● 売買による土地所有権移転状況^{*8}



*1 帝国データバンク (DIは0～100、50が判断の分かれ目)

*2 国土交通省

*3 不動産経済研究所

*4 不動産流通機構

*5 アットホーム

*6 三鬼商事

*7 不動産証券化協会、東京証券取引所、財務省 (スプレッド = J-RIET分配金利回り - 10年国債利回り)

*8 法務省

[今月の不動産経済](#)
[時系列データ\(excel\)ダウンロード](#)